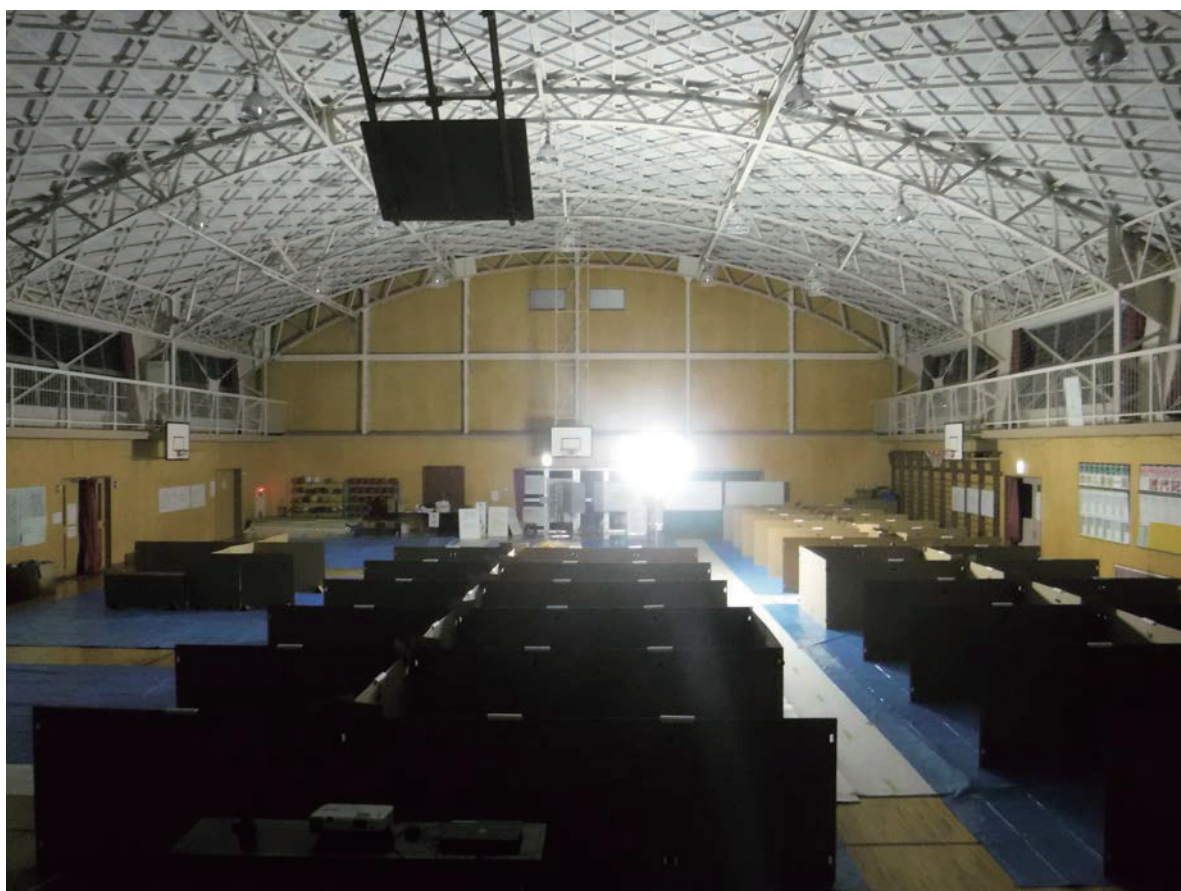


# 指定避難所開設・運営準備の手引き

## (茂原市立東部小学校の場合)



平成31年2月

東部小学校避難所運営等検討委員会



## はじめに

平成 28 年の熊本地震では、避難所運営に多数の行政職員が忙殺され、物資の供給が遅れる等、他の業務に大きな影響を及ぼしました。指定避難所の開設・運営は、避難者自らが行うことを基本としており、日頃の準備が非常に重要となってきます。このため、いかなる避難者が避難して来ても、迅速かつ的確に指定避難所の開設・運営を行うことができるように、準備事項を確立することが重要であり、今回の検討に至りました。

今回の検討では、茂原市立東部小学校（以下「東部小学校」という。）を指定避難所とする自治会及び自主防災組織、施設管理者（東部小学校）、東部小学校に係る茂原市地区社会福祉協議会、茂原市地区民生委員・児童委員及び東部小学校 P T A 並びに茂原市、千葉県災害対策コーディネーター茂原が連携して、東部小学校に指定避難所を開設した場合の各施設の配置、掲示物及び必要な書類について会議や訓練により具体化し、考え方や着意事項を含めて「指定避難所開設・運営準備の手引き（茂原市立東部小学校の場合）」として作成しました。

なお、今回の検討にあたり、東部小学校区に震度 6 弱の地震が発生し、発災から約 1 週間経過、約 200 名の避難者が避難することを前提としました。

このため、避難所で必要な資器材等は、普段から備蓄する物だけでなく、発災後調達する物を含めて検討しました。

## 目 次

第 1 章	東部小学校の概要	3
第 2 章	避難所の各施設の配置	
	1 全般	3
	2 居住のための施設	4
	3 生活関連施設	7
	4 その他関連施設	10
第 3 章	避難所の掲示物	
	1 スローガン	13
	2 避難者への伝達事項	13
	3 避難所生活関連	13
	4 車両避難者関連	14
	5 報道機関関連	14
第 4 章	避難所の関係書類	
	1 施設被害状況確認票	15
	2 避難所記録簿（避難者カード）	17
	3 避難者名簿	21
	4 居住組別避難者名簿	23
	5 外出簿	25
	6 避難所物資受払い記録簿	27
	7 避難所物資払出記録簿	29
	8 物品要望書	31
	9 ペット登録票	33
	10 ペット管理簿	35
	11 資格保有者名簿	37
	12 避難所運営委員会 活動班名簿	39
別紙第 1	東部小学校 校舎配置	40
別紙第 2	東部小学校 教室配置	41
別紙第 3	避難所の各施設の配置	42
別紙第 4	居住区の設置（展示用）	43
	東部小学校避難所運営等検討の記録	44

## 第1章 東部小学校の概要

東部小学校は、JR 茂原駅から約 1.5Km 南東の住宅街に位置し、南北約 130 m、東西約 200 m の広さを有します。茂原市で指定されている指定避難所 34 か所の一つであり、洪水や地震等すべての災害に対応できる避難所となっています。また、体育館の他に、校舎には普通教室 21 室、理科室等の特別教室関係は 7 室を保有するとともに、学校の東、北、西の 3 か所に出入口を有します。

別紙第 1 東部小学校 校舎配置

別紙第 2 東部小学校 教室配置



(東部小学校全景)

## 第2章 避難所の各施設の配置

### 1 全般

小学校を避難所とした場合、教育の再開を考慮し、教室の使用は努めて最小限とし、要配慮者についても、努めて早く福祉避難所へ移送します。しかしながら、避難者が多数の場合は教室の使用もやむを得ないと考えられます。

避難所の各施設は、居住区を中心に努めて近い場所に配置しますが、ペット飼育場所は鳴声や臭い、トイレは利便性や臭い、女性関係の施設は性犯罪が起きにくい場所を考慮し、配置します。

また、避難所の出入口は、物資運搬車やごみ収集車等の業者用の出入口、

一般避難者の車両用の出入口、徒歩用の出入口をそれぞれ指定し、業者エリア、一般車両エリア、避難者エリアに区分、安全の観点から努めて混交しないようにします。

### 別紙第3 避難所の各施設の配置

## 2 居住のための施設

### (1) 居住区

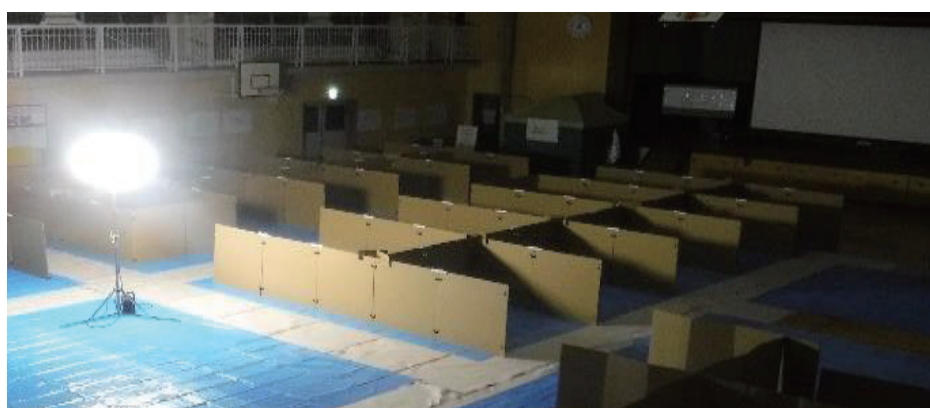
#### ア 通路の設置と間仕切り

20～30人のグループに区分し、トイレ等への移動や物資の運搬が容易にできるように通路を確保します。

間仕切りについては、通常個人のプライバシーの保護の観点から設置しますが、暑さ対策のための風通し、間仕切りによる圧迫感及び隣人の顔が見えないことによる不安感を除去するために、撤去する場合があります。

通常市販のダンボール間仕切りは、2人用(2m×2m)が10部屋に区分できるように作成されており、効率的な使用の観点から、ブルーシート(3.6m×5.4m=19.44㎡:2㎡/人で10名収容)を3枚で一つのグループとして使用することが望ましい。また、仕切りダンボールの増設や通常のダンボールを利用した応用間仕切りを利用することにより、3人用や4人用の部屋の設置が可能となります。

### 別紙第4 居住区の設置(展示用)



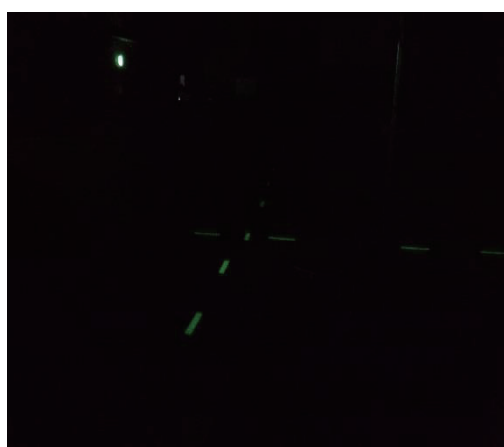
(間仕切り)

#### イ 就寝時の処置

夜間は体育館内が真っ暗になるため、避難者が行動しやすいように照明

を準備しますが、避難者が就寝している時間帯については、懐中電灯の明りや音が寝ている人の邪魔にならないように、通路については、蓄光テープやケミカルライトにより表示するとともに、防音シートを使用して防音処置を施します。この際、蓄光テープの蓄光能力を考慮します。

また、入口や体育館内のドアにも防音処置を施すとともに、床マットや体育用のマットは、防音効果とともに、居住性の向上や防寒対策のためにも有効です。特に、体育用のマットは、発災直後の使用が可能であり、優先的な使用に努めます。



(蓄光テープ)



(ドアの防音処置)

#### ウ 生活用品の活用

全体を通して、資器材がなくとも、応急的にダンボールを利用し、イスや間仕切りを作成したり、床に敷いて防音や防寒処置、窓ガラスに設置し、日除け処置を行います。また、ペットボトルを利用した簡易ランタンの利用も有効です。



(ダンボール応用間仕切り)



(簡易ランタン、ダンボール固定)

## (2) 福祉避難室

傷病者、高齢者及び身体障害者の要配慮者については、車いすの使用も考慮し、スロープがあり、移動が容易な1階の部屋を割り当て、ダンボールベッドやポータブルトイレ（ダンボール等で囲む。）を設置し、生活の利便性を向上させます。（空調設備があれば望ましい。）

また、早いうちに福祉避難所へ移送します。



(ポータブルトイレ)



(ダンボールベッドと間仕切り)



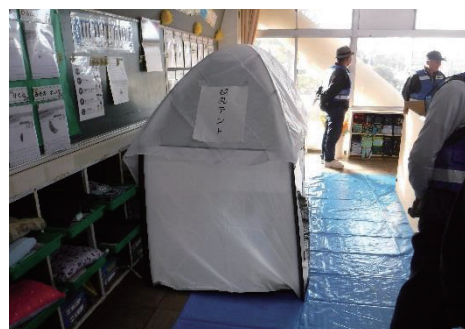
(スロープ)

## (3) 精神等要配慮者室

精神障害者や知的障害者の場合、急な環境変化に対応することができず、パニックになる可能性がありますので、家族単位で他の居住施設から離れた場所を利用します。この際、体育館内の更衣室やプールの更衣室の利用も検討しましたが、人としての尊厳を考慮し、利用しないように努めます。

## (4) 乳幼児家族室

乳幼児のいる家族では、授乳、おむつ替え、泣き声等で周囲に気を使うため、体育館のような大きな居住区ではなく、部屋を割り当て、テントや間仕切りにより授乳等を容易にします。



(授乳用テント)



### 3 生活関連施設

#### (1) ペット飼育場所

鳴声や臭いの観点から、居住区と離れた雨風のしのげる屋根のある場所に、犬、猫、その他（鳥等）のペットの種類に区分して設置し、ケージやリードに管理番号を表示します。この際、日頃部屋で飼っている飼い主の心情を考慮し、プールの更衣室等の部屋になっている場所を努めて選定するとともに、動物を刺激しないために、避難者等が行き交う動線からはずれた場所や車が行き来する幹線道路から離れた場所にします。

また、設置可能な施設がない場合は、テントを設置しケージを配置したり、リードの付いた犬などは、鉄棒等のある場所につなぎ、屋根型テントを設置し、飼育します。



(犬用ペット飼育場所)



(リード付犬用ペット飼育場所)

#### (2) トイレ

必要数については、「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」（内閣府）によると、避難者約50人当たり1基、避難が長期化する場合、避難者約20人当たり1基となっています。男性用と女性用の数は、概ね1:3の割合で設置し、屋外に配置する女性用の仮設トイレは、性犯罪防止の観点から明るい目立つ場所に、男性用と離して配置します。また、夜間でも安全かつ安心して使用できるように照明器具を設置します。



(トイレの夜間照明)

体育館内のトイレは、上下水道が使用できない場合、高齢者のために和式便器用セット等を使用して洋式化し、簡易トイレとして使用できるようにします。この際、ドアの開閉が困難になる可能性がありますので、注意が必要です。



(和式便器用セット)

やむを得ず地面に穴を掘ってトイレとして使用する場合は、敷地の端など人の通らない場所に構築し、排泄後は石灰や土により処理し、トイレットペーパーは袋に入れてゴミとして捨てる必要があります。



(穴を掘って使用するトイレ)

### (3) 炊き出し場

自衛隊の炊事車等の支援がある場合は、居住区に近い上下水道施設のある場所に設置します。家庭科室は、校舎の3階で居住区から一番遠い場所にあります。他に調理施設がない場合は、利用します。



(炊事車)

### (4) 風呂場

上下水道施設のある場所で、監視が容易な位置に設置します。

### (5) 洗濯場

上下水道施設のある場所で、居住区に近い目立たない場所に設置します。

(6) 医務室

ベッドや医療関係の資器材が利用できるため、学校の保健室を利用します。

(7) 食料物資保管場所

盗難防止や品質確保の観点からステージ両側にある資器材置き場を保管場所として利用します。使用が困難な場合は、居住区の一部にブルーシート等を被せて保管します。この際、食料品等の賞味期限は見える側に表記し、食料品と日用品・衣類等は努めて区分します。



また、物資等の運搬車両は、努めて一般車両や居住区の避難者と混交しないような経路を選定できるようにします。

(賞味期限を表記した物資)

(8) 更衣室

体育館にある更衣室を利用します。他の居室等として使用される場合は、テントで設置します。

(9) 遊戯室

居住区に近い場所で、騒ぎ声等で居住者に影響を与えない場所に設置します。

(10) 物干場

男性用の物干場は、居住区の外に設置しますが、女性用の物干場は、下着泥棒等の性犯罪防止の観点から、居住区の一部にテントやブルーシート等を活用し、外から見えないように設置します。



(女性用の物干場)

#### (11) ゴミ置き場

可燃物、不燃物、資源ごみ、し尿に区分して設置します。大量のゴミが発生するため、ゴミ置き場は、区分ごとに大きく区画をとり、地面に石灰で表記したり、ダンボール等に表記します。

また、努めてゴミ収集車が一般車両と混交しないように設置します。



(ゴミ置き場)

#### (12) 喫煙所

居住区から離れた人通りのない場所で校門近くに設置します。校門近くに配置することにより、防犯上見回り等の代替手段になります。



(喫煙所)

### 4 その他関連施設

#### (1) 避難所看板

外国人は災害時に、自分が避難所で受け入れてもらえるのかという不安があります。入口に母国語で「避難所」という表記があれば、受け入れてもらえるという気持ちになりますので、日本語以外の外国語の表記に努めます。

例 **Evacuation Shelter** (英語)

避難所 (中国語)

대피 장소 (韓国語・朝鮮語)

**Lugar para sa paglikas** (タガログ語)

**Nôi lảnh nain** (ベトナム語)

สถานที่หลบภัย (タイ後)

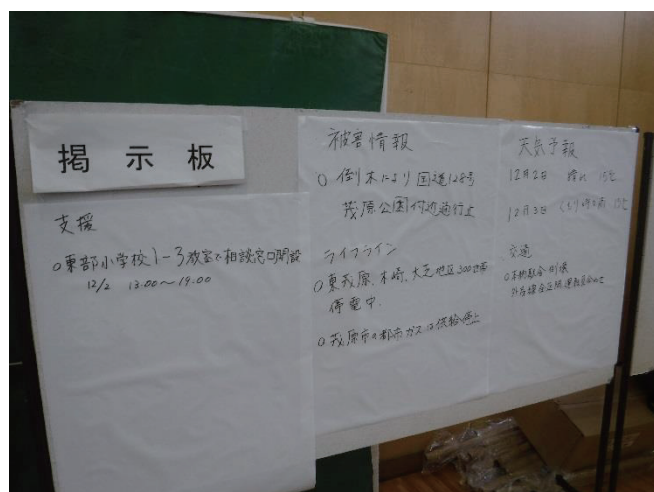


(避難所看板)

## (2) 受付・掲示板

避難者が主として出入りする入口に設置し、避難所の受付に必要な避難者カードやペット登録票の他にマスクや消毒剤を準備します。

掲示板の情報については、地震情報、天気予報、被害情報、ライフライン、交通情報及び罹災証明書発行等の支援情報等に区分して、掲示します。この際、地図や壁等に貼って使用可能な防災伝言シートの活用を努めます。



(掲示板)

## (3) 運営事務室

体育用具の倉庫を利用します。倉庫がない、または使用できない場合は、居住区の一隅に机と椅子を設置し、応急的な事務室とします。

## (4) 会議室

体育館のステージに机や椅子を配置し、会議場として使用します。

## (5) 女性用品配布室

女性用下着や生理用品等の女性用品は、恥ずかしさから受け取ることを躊躇したり、必要な人に行き渡らない場合があるため、居住区から離れた場所に設置し、女性の係が受け渡しや要望受けを行います。

## (6) 物資等配布場所

食料物資保管場所の近くで、車両避難者や在宅避難者への配布も考慮し設置します。

## (7) 相談室

各種相談を受けるため、居住区から離れた場所に設置します。

## (8) 立入禁止区域

危険箇所には、小さな子供でもわかるように、貼紙や進入禁止テープを張る等の措置を行います。ロープの使用は、子供が遊んで首に巻きつくなどの危険な状況が生起するため、努めて避けます。

(9) 駐車場

駐車部分を決定し、駐車させます。また、エコノミークラス症候群予防や盗難防止のために、見回りを行います。

(10) 各施設の案内板

子供や外国人がわかるように文字と一緒に絵などで表示します。



(案内板)

(11) コンセント

体育館等の各施設のコンセントの数は少ないため、コードリールや多孔コンセントを活用し、携帯電話の充電等の電源を確保します。



(コンセント)